

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	43	事業名	子育て支援センター運営事業	担当部課	子ども部子ども家庭課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款—項—目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	子ども・子育て支援法、第2期子ども・子育て支援事業計画	3-2-1 児童福祉総務費	
	事業開始の背景、経緯等	平成20年度から、次世代育成支援法(当時)に基づき、子育て親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助を行うものとして開始した事業。令和3年度から重層的支援体制整備事業の地域づくり事業にも追加			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 子育て親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習会等の実施
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内の子ども及び子育て中の保護者
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 子育て環境の孤立化を防ぎ、虐待のない健やかな環境で子育てができること。

項目	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
			事業費(A)	千円	予算 3,071	3,096	6,266
			決算 3,095	3,039	5,661	7,580	
人件費(B)	千円	決算	5,416	6,291	7,514	9,237	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	8,511	9,330	13,175	16,817	
事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	人		10,786	10,876	10,852	10,792	—
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		1	1	1	1	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
			子育て支援センター来館者数	人	目標 24,960	24,960	24,960
			実績 18,793	16,808	9,250	7,214	
(指標の設定根拠)	(数値目標の根拠)						
子ども・子育て支援事業計画の量の見込みに基づく。目標値は子育て支援センターの施設上、入場可能である人数で設定している。							
(前年から指標を変更した場合はその理由)	子ども・子育て支援事業計画の量の見込みの設定数値と同値とする。						
(前年までの指標)							

目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 令和2年3月～5月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止で休館とし、令和2年6月から感染対策として滞在10組までの入館制限を設け再開した。現在も制限継続中。オミクロン株流行の令和4年1月～2月は児童の陽性者が急増、テラタ株流行の令和3年7～9月は来館者数が顕著に減少した。コロナ以外の要因としては、保護者の就労、市民団体や個人サークル活動による保護者の居場所の増加が考えられる。
活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和2年度に引き続き、マスク着用が困難な幼児を対象にした講座や運動系の講座は、コロナ禍で中止が相次ぎ、予定の概ね1/3の実施となったが、オンラインでも可能な講座はZOOMを利用するなど、できる限り可能な方法で講座の実施に努めた。コロナ禍での開館については、換気と消毒を徹底するなどし、育児の孤立化防止を目的に保護者の居場所の確保に努めた。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) コロナ流行状況等も踏まえ、引き続き安全な場所の提供を行う。ワンオペ育児による孤立感の緩和を目的に、同じ乳幼児の親子対象のサロンを計画した。今後は、母子保健分野との連携強化による子育て支援の一体化を目指し、行事のコラボレーションを動めていく予定である。

これまでの振り返り

事業を構成する事務事業①	子育て支援センター運営事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績				
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】	人	見込	24,960	24,960	24,960	24,960	24,960
			実績	7,214			
(3) (その他)行事回数	回	見込	36	36	36	36	36
			実績	16			
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進に関する事務・子育て等に関する相談、援助の実施に関する事務・地域の子育て関連情報の提供に関する事務・子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施に関する事務・コロナ禍で新しい生活様式を取り入れて事業展開をした。コロナの流行状況により開催を中止する行事が半数以上であった。						今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	子育て支援センター運営事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績				
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
			実績				
(3)		見込					
			実績				
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>						今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	子育て支援センター運営事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績				
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
			実績				
(3)		見込					
			実績				
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>						今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 安全に過ごせる環境整備の継続とニーズに合致したプログラムの改善等に取り組む。引き続きコロナ禍でも新しい生活様式を取り入れながら、育児の孤立化防止を目的に開館や行事を遂行する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗管理と同様に事務を進める。引き続きコロナの流行状況に注視し、事業展開を進める。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・成果指標は、【事業意図】の成果が分かるアウトカム指標としてください。 ・市民との連携協働の可能性が「有」のため、事務事業での市民参加について模索してください。
内部意見への回答		